

宇治交配

夏 洛 菜 (なつらくさい)

春～夏栽培で収量性に優れた小松菜

特 性

- ① 草姿は立性で株張りよくボリューム感があり、極めて収量性に優れています。
- ② 葉はテリのある極濃緑色となり、肉厚でよく揃います。又、葉柄ががっちりしており折れにくく、収穫・結束作業も容易です。
- ③ 春～夏栽培に最適で、特に高温期の栽培でも徒長しにくく、在圃性に優れています。

栽培上の注意点

- ① 極端な過湿を嫌いますので、梅雨期の管理には注意します。
- ② 冬期には生育が極めて遅くなるため、11月～3月の播種には適しません。



栽培のポイント!

- ① コまつなは栽培期間が短く、連作が多くなるので健全で地力のある土作りをする事が重要になります。完熟堆肥を十分に入れ、深耕することで土相のリフレッシュを計ります。
- ② 施肥は、元肥を主としてチッソ、リンサン、カリを10a当たりの成分量でそれぞれ10kgを目安にします。
- ③ 齊一な発芽をさせることが株揃いを良くするポイントとなるので、整地や播種はできるだけ均一にし、発芽するまでは、乾燥しないように心がけます。10a当たりの標準的な播種量は1ℓ程度です。
- ④ 病害の防除については、連作地において萎黄病や根コブ病がありこれらには土作りの段階での土壤消毒が必要になります。白さび病には早期の予防が有効です。また、虫害にはコナガ・ヨトウムシ・アオムシ・キスジノミハムシ等の被害がありますが、いずれも早期防除に努めます。また、播種直後から生育期間を通じ、寒冷紗等の被覆資材で密閉することも害虫防除の有効な方法です。

下記標準栽培表参考に貴地の気候に合わせて栽培してください。

